

市長への手紙 ご意見とその回答(令和6年1月)

質問	<p><u>龍塗装の路線バスの復活について</u></p> <p>龍ヶ崎市内の路線バスには、かつて住宅都市整備公団とのタイアップカラー通称「龍バス」と呼ばれる車両が走っており、広く市民に親しまれていました。</p> <p>令和6年は辰年に加え、市制施行70周年記念という絶好の機会かと存じますので、龍ヶ崎市のPRも兼ねて「龍バス」の復活を検討されてはいかがでしょうか。一市民として実現に期待しております。</p>
回答	<p>車体に龍のペイントが施された、いわゆる「龍バス」の運行につきましては、関東鉄道株式会社により行われていたもので、市を象徴する龍のデザインが市内の子どもたちに親しまれていたのを記憶しております。</p> <p>しかしながら、「龍バス」は平成27年を最後に運行が終了しており、現存している車両もないものと伺っております。</p> <p>一方、ご認識のとおり、当市は3月20日に市制施行70周年を迎えます。また、「辰年」が重なるという、60年に一度という運命的なめぐり合わせの年でありますことから、PRを進めていく上では絶好の機会であると考えており、令和6年を「龍の年」として位置づけ、内外に発信してまいりたいと考えております。</p> <p>ご提案いただきました「龍バス」の運行につきましては、新たに車両を用意する必要があるため、実現は難しいと考えておりますが、様々な形で市制施行70周年を広くPRしてまいりますほか、市民の皆様が親しまれる公共交通の実現を目指してまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。</p> <p>【担当：都市計画課】</p>

質問	<p><u>コミュニティバスについて</u></p> <p>現在、市内のコミュニティバスでは、循環ルート以外のルートで、交通系ICカードが使えない状況にあり、これが多くの市民にとって利便性の低下を招いていると感じております。交通系ICカードの導入をすることで、乗車手続きがスムーズに行え利便性が向上し、より良い龍ヶ崎市になると思います。また、もっと多くの人々がコミュニティバスを利用してくれるようになると思います。ぜひ循環ルート以外のルートでも交通系ICカードを導入していただきたいです、よろしくお願いいたします。</p>
回答	<p>当市コミュニティバスでの交通系ICカード利用につきましては、過</p>

	<p>去に循環ルートをはじめ、すべての路線での利用の可能性を検討した経緯がございますが、利用を開始するためには多額のライセンス料が必要となります。</p> <p>循環ルートの運行をお願いしております関東鉄道株式会社はそのライセンスを事業者として取得しておりますことから、循環ルートではICカードの利用が可能となっているところでございます。循環ルートと比較して利用者の少ない枝線ルートでのICカードの利用につきましては、事業継続とコスト面のバランスなどを勘案しますと難しいものと考えております。</p> <p>当市といたしましては、引き続き様々な手法でコミュニティバスの利用促進を行い、一人でも多くの方にご利用いただけるよう努めてまいります。</p> <p>また、令和7年4月にはコミュニティバスをはじめとした地域公共交通の再編を行う予定としております。コミュニティバスや乗合タクシーを軸に、さらには新たな交通サービスとしてAIオンデマンド交通の導入も視野に入れながら、よりよい地域公共交通ネットワークの構築を目指してまいりたいと考えておりますので、引き続きご理解、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>【担当：都市計画課】</p>
--	---

<p>質問</p>	<p><u>身勝手な駐車をしている自動車について</u></p> <p>先日お伺いした時、駐車スペースではないところに2台の車が止まっていたいました。</p> <p>受付の方に見てもらったところ、「担当者に連絡いたします。」とのこと。市役所での用事が終わり、帰りかけたところ、受付の方から「担当者に話しましたが様子を見ることになりました。」と教えていただきました。</p> <p>「様子を見る」って何でしょう。1台の車は横断歩道の上に止めていたのですよ。即刻移動してもらうべきではないでしょうか。違反駐車している人に話したら逆ギレされるかもしれないのが嫌だったのでしょうか。</p> <p>ちなみに本来の駐車場には沢山の空きスペースがありましたよ。</p>
<p>回答</p>	<p>このたびは横断歩道上への自動車の駐車にかかる職員の対応につきまして、ご不快な思いをさせていただきましたことを深くお詫び申し上げます。</p> <p>お手紙をいただいて以降、担当者が再度現地の確認を行っていたとこ</p>

	<p>ろ、お送りいただいた写真と類似した自動車が横断歩道上に駐車されていましたことから、今回は担当者が運転手に注意勧告するとともに、さらには当該横断歩道の近くに駐車対策としてカラーコーンを設置する処置方法を取らせていただきました。</p> <p>市役所という施設の特性から様々な方が利用されますため、ご利用の皆様が安全に、かつ快適に利用できる庁舎を目指してまいります。</p> <p>【担当：管財課】</p>
--	--

<p>質問</p>	<p><u>子どもにどこが優しい町なのか</u></p> <p>子どもに優しいという宣伝を見るが優しいと思えない。他の地域（他県から引っ越し）は給食費が無料であったが龍ヶ崎は有料。無料にしてほしい。子どもの病院費用も無料であったが、龍ヶ崎市は有料。</p> <p>学童も高いわりに、お弁当も他地域は制度があるのに、お弁当注文もできないからやめました。学童申し込みも仕事を休んで役所の窓口。郵送、休みの日のサプラ窓口での申し込みはしていない。使いづらいと思う。</p> <p>また、役所の窓口も転入届や変更手続き、冷たい感じで説明も親切でない。龍ヶ崎は説明不足と印象悪く感じる。対応の仕方等、他市の役所を見習ってほしい。</p>
<p>回答</p>	<p>はじめに、ご意見いただきました給食費について回答させていただきます。今年度につきましては、今般の電気・ガス・食料品等の価格高騰による、児童生徒を抱える各家庭の経済的負担を軽減するため、令和5年10月から令和6年3月分の給食費（11月末以降の引き落とし分）の無償化を実施しております。</p> <p>また、当市では、学びを支える教育環境の整備として、経済的な理由で就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費や給食費など学生生活に必要な費用の一部を援助しております。</p> <p>さらに、3人以上の児童生徒が同時に小中学校へ就学している多子世帯を対象に、第3子以降の児童生徒に係る学校給食費の無償化を実施しております。</p> <p>そのような中、これらの制度に該当しない世帯におきましては、食材料料費のみを給食費として保護者の皆様にご負担いただいております。</p> <p>次に子どもの医療費につきましては、「マル福」という制度に基づいて、茨城県と龍ヶ崎市にて、高校生年代までの入院、外来、調剤についての医療費助成を行っております。医療機関ごとの自己負担額は、入院の場合、1日当たり300円、最大月額3,000円、外来の場合、1</p>

	<p>日600円、最大月額1,200円までとなっております。</p> <p>マル福では限られた財源を効率的・効果的に活用するため、受益者にも応分の負担をいただいております。今後ともマル福制度の安定的な継続に努めていきたいと考えております。</p> <p>続きまして、学童保育の保育料については、利用にあたり保護者の皆様にご負担いただく額として適正かどうかを、「龍ヶ崎市使用料・手数料改定検討委員会」において定期的に審査し、料金設定をしております。</p> <p>なお、参考までに茨城県内の市町村を確認したところ、月額2,000円から8,000円で設定されておりました。</p> <p>夏休みなど長期休みを対象とする有料のお弁当提供については、現在、実施できる方法を検討しているところです。</p> <p>学童保育の申込手続きにつきましては、ご不便をおかけし申し訳ございませんが、お子様を安全にお預かりすることを最優先に、アレルギーやお子様の特性などを口頭で確認しながら受付をさせていただいております。</p> <p>なお、申込の受付時間については、課題として検討してまいりますほか、個別の働き方等に合わせ対応しておりますので、ご相談いただければと存じます。</p> <p>最後に、この度は、職員の窓口対応で不快な思いをされましたこと深くお詫び申し上げます。</p> <p>来庁される市民の皆様の中には慣れない手続きに戸惑いを感じながら来庁される方もいらっしゃるかと認識しております。</p> <p>窓口職員の配慮や説明が足りなかったことにつきまして改めてお詫び申し上げます。</p> <p>職員の窓口対応につきましては、日ごろより接遇力の向上に努めているところですが、この度の指摘を受け、市民窓口課職員全員に注意喚起をしたところでございます。</p> <p>業務多忙の中でもお客様のお気持ちに寄り添い、親切な対応と丁寧な説明を行うよう努めてまいります。</p> <p>今後におきましても、市民の皆様にご満足いただけるような窓口づくりに取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>【担当：学校給食センター・保険年金課・保育課・市民窓口課】</p>
--	---

質問	<p>市内の交通環境の件 学校SDGsの件</p> <p>1. 信号設置や停止標識設置要望の件です。</p> <p>中根台のランドロームとイエローハットとの間にある交差点付近で数か月ほど前に大きな交通事故があり、幸い大けがをした人はいなかった</p>
----	---

たようですが。夜間いきなり大音響がしてまた事故かと懐中電灯を持って、警察消防が来るまで交通整理をしに出るのがいつもです。この場所は従来から非常に事故が多い交差点（T字路）です。記録を見てほしいのですが、かつては毎月のように事故がありました。

この東西方向の幹線道路の分離帯に草や木があって、右折して北側に行く際、向こう側（西側）が木でおおわれて見にくかったのですが、今回は市による伐採の直後で、やっぱり事故の起きやすさは変わらないのですね。信号が必要なところと思います。が、近くのツタヤ前にあるということでもまだありません。この信号も、反応が遅くかなり待つので、赤でも渡る方もいます。日頃の車でこの交差点への出入りにも危険を感じる場所でもありますので、信号設置をお考えください。

また、この周辺は、この数年で狭い住宅街なのに交通量が異常に多くなったところ。ランドロームへの買い物客、抜け道としてなど。何年前か前に市によりカーブミラーと交差点である旨の埋め込み式点滅ライトが設置されました。これもありがたいことです。ここは住宅地の4メートルほどの幅の道路なのに、大型バスやカーキャリアまで通ります。せめてこういう特大大型車は通行禁止にしてほしいものです。また、現在は東西方向には「とまれ」の標識がありますが、南北方向も坂道でもあるせいか、スピードを出して通る車はもちろん、四つ角を曲がる車さえスピードを出して曲がることも多いので、狭い道路なのに、私たち高齢者などは危険を感じますし困っております。というわけで、東西方向も「一時停止」にさせていただけると助かります。

交通環境はどんどん変わりますので、それに応じて信号の点滅時間などの規制も変えていただきたく思います。

2. SDGsの件です。

今や世間ではコンビニやレストラン等でも、スプーンなどを紙にするなど、かなり環境を意識した方向になってまいりました。学校では現在、牛乳にプラスチックのストローを使用していると思いますが、これは原則必要ないと思います。

牛乳パックを開くと四角い紙コップのようになりますので、そうすればストローはなくても飲めます。私も奉職時代、1本も使用したことがありません。大量に使用している本プラスチックのストローが不要になると思います。プラスチックのストローがどうしても必要だというお子さんなどは、もちろんそのままお使いいただければよいと思います。

回答 はじめに、信号及び標識の設置について回答させていただきます。信号

	<p>機の設置につきましては、茨城県公安委員会の所管となっておりますことから、各住民自治組織の代表者様からのご要望を、市が取りまとめて竜ヶ崎警察署に依頼しております。信号の設置は交通の流れに大きく影響を与えることとなりますので、地域においてご検討いただき、地区代表者から市担当部署へ要望書をご提出いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、ご要望をいただいた場合でも、設置がお約束されるものではございませんことをご了承くださいますようお願いいたします。</p> <p>また、一時停止規制につきましても、茨城県公安委員会の所管となりますことから、各住民自治組織からのご要望を警察署にお伝えしておりますが、現在、交差点における全ての方向に対して、新たに一時停止の規制は行っていないとお聞きしております。</p> <p>次に、学校給食におけるストローについてお答えいたします。持続可能な社会を目指す観点から、飲みやすさと環境を考えた取り組みとして、ストローレスの紙パック牛乳を提供している学校給食があることは当市でも認識しているところですが、現在、当市で提供している牛乳パックは、ストローを使用する規格となっております。</p> <p>しかしながら、時代の変化にあわせ、いただいたご提案も参考とさせていただきます。環境に配慮した安心安全な学校給食の提供に努めてまいりたいと存じますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。</p> <p>【担当：防災安全課・学校給食センター】</p>
--	--

<p>質問</p>	<p><u>牛久沼公園鳥へのエサについて</u></p> <p>近くに住んでいるので、時々沼公園に行きますが、土砂の袋が公園入口に並んでいるせいか、一般客も少なく、近くで3月まで工事が続いているので、鳥達もエサに苦労している様子。1人2人のエサを持参した人に、数多くの種類の鳥が群れ集まっています。土砂袋が道に並んでいるので車も少ない。見ていて、白鳥がエサを食べようにも、他の鳥の群れにとられています。</p> <p>早く土砂袋が処分されれば、状況も変わると思いますが、現状はこれまで観たことのない風景。とにかく訪問者が少ない現状では、時に市として何らかの行動をすべきではないでしょうか？近くに住む人間として、心が痛む風景です。</p>
<p>回答</p>	<p>ご意見いただきました牛久沼水辺公園に生息しているコブハクチョウは野鳥として取り扱っているため、市といたしましては餌付けを行っておりません。ほかの野鳥同様、牛久沼の豊かな自然の恩恵を受けられるよう、環境保全を基本に見守ってまいりたいと考えております。</p>

また、公園内やその周辺に設置しております土のう袋(土砂袋)につきましては、昨年6月に発生した牛久沼の越水により、床上浸水や床下浸水の被害が出ていることから、越水を食い止めるため、及びその後の越水対策のために河川管理者である茨城県が応急的に設置したものでございます。

その後、茨城県が設置した第三者委員会「牛久沼越水対策検討委員会」による原因究明や、今後の対策の検討の結果、牛久沼及び谷田川の堤防の高さが、地盤沈下により計画の高さを下回る場所があることが分かり、第三者委員会から茨城県に対し今後の越水対策として堤防の高さを計画の高さまでかさ上げすること等が提言されました。

そのため、まずは、市民の皆様の生命や財産を守ることを優先させるため、堤防のかさ上げが完了するまでの当面の間は土のう袋による応急的な越水対策を継続する必要がありますことをご理解くださいますようお願いいたします。

【担当：商工観光課・防災安全課・まちの魅力創造課】